

平成 30 年度

第 2 回（5 月）教育委員会定例会会議録

日 時：平成 30 年 5 月 23 日（水） 15 時 00 分～16 時 40 分

場 所：村民センター小会議室

出席者：教育長 清水 閣成

委 員 三澤 久夫・清水 道直・林 百代・出羽澤和子

事務局：教育次長 伊藤 弘美

書 記：池上 博子

以上 7 名

1 開 会

2 教育長あいさつ

先週の県外研修（教育 IT ソリューション EXPO）お疲れ様でした。今後それぞれの立ち場で検討を深めてまいりたいと思います。

伊那青年会議所親学委員会が設置され、「大人が自信の姿を見つめ直す事業」として中 2 の生徒に「大人に対する意識アンケート」を実施しました。お手元の「結果報告書」にまとめられています。中でも「かっこいい大人」「かっこ悪い大人」についての結果は、意外でした。私たちは、自らを律してあるべき姿を見せていきたいと思います。また、最後に記してありますが、子どもの視点、考えに立ち大人自らが日々の言動や姿を見つめ直し、どうあるべきかを考えることではないでしょうか。共育ちであります。皆さんのような感想・お考えをお持ちになりますか。…。

昨日、「上伊那郷土愛プロジェクト」主催による第 5 回キャリア教育産学官交流会が飯島で行われました。文部科学省（初等中等局）長田教科調査官の講演で「かっこいい姿ではなく、一生懸命な大人の命」「地域で育てられた実感を持つ子ども」「大人のマインドを学ぶ」が、先ほどの伊那青年会議所のアンケートの考察と重ねて、キーワードとして私に中に沈殿しております。

3 報告・確認事項

(1) 県外視察について

< 委員 >

- ・二日目に「英語 4 技能を楽しく習得、同志社中学校に学ぶ」に参加。（資料参）。英語力の検定 1 位はシンガポール、日本は 26 位から話が始まった。中 3 の英語嫌いは 43%、小 6 で 20%は自信が無い、というデータ。中学校の英語の学習スタイルは、英語でスピーチを行っている教員は 53%であり、スピーチを行っていない場合、英語嫌いの傾向があり、話すことのテストスコアが高いほど、英語好きの傾向がある。知識だけの詰め込みでは将来に生きていかない。学校で

は、AI ロボットが教師役をして、発音などに力を入れている。今後、小中学校で英語の実践がより深まっていくが、学び合いとともに話すことに比重を置いた、授業スタイルを変えていく必要あがる。

- ICT を「道具」としながら個の学び～仲間との学び～個の学びの中で、如何に学びを深めるか：授業の本質が大事。ICT に振り回される必要は無い。
本村の ICT 整備計画はどうなっているか。
- 3 年計画に大枠としては盛ってあるが、大型投影機をどうする等具体的な計画は現時点では無い。
- 校舎の増築等に予算を掛けざるを得ない状況は理解できるが、やはり ICT も計画性・道筋を持って予算獲得を押し進めていくことが大事。その計画を基に総合教育会議等で村長理解を促したい。
- 参考にしたいのは、整備計画のステップ 1・2・3 をどう村として整えていくか。
タブレットはステップ 1 には含まれていない。
- たくさん道具がある中で、計画をしっかりと立てて無駄の無いようにしていかなければ。出遅れていると感じている。整備計画を整えるとともに、専門的な立場の方（信大東原教授他）の指導を受けることも必要。
- 予算のことがやはり一番。取りあえず環境を整えながらスタートし、先生方が実践力を高めていくことを望みたい。

<教育次長>

昨年度から検討を重ねてきているが、校務を含めてきちんとした計画の必要性がある。今回の研修で、学習支援と校務がばらばらなものではなく一緒に考えられることを理解した。器材は少なく、最大限活用できるものがあれば一番良いと考える。また、学校の意見も吸い上げる必要がある。信大の東原教授の話聞くのも一案。これらを踏まえながら来年度予算に間に合うよう動く必要がある。できるだけ早いうちに各校の情報担当の先生と協議を始めたい。

<委員>

実際の姿を皆で観ることが必要と考える。喬木村を視察してはどうか。学校の先生と管理職・村長・副村長に参観していただくことも大事。

<教育長>

今回の研修で学んだこと、今後の情報委員会・視察を重ねながら、来年度 ICT 環境整備計画を立て、総合教育会議での協議題としていきたい。

(2) 働き方改革について

<教育長>

資料にもとづき、報告がなされた。（会議資料 1）

- 最初にビデオを観ていただきたい。
TV（民報）録画：県第 1 回働き方改革推進会議
- 資料（新聞の記事）を基に

勤務時間の管理については、前回の教育委員会で確認したように、南小での検討を踏まえ、この会で協議を深めたい。②夜間休日などの時間外での対応については、資料にイメージ図がありますが、教員が個人の携帯電話などの番号を保護

者に伝えることを控えること、安全性・何かあった時に即対応できるか等の課題がある。③学校閉庁日については、8月13日～16日としていく。このことに関して、保護者説明会の必要性について、3校校長と相談した結果3校とも文書でよいのではないかという方向を確認している。④月に2日定時退勤日を設けることについては、1日を現在設定しているがその1日も苦しい状況にあるので、先ず1日をしっかりやっていく方向。⑤村が依頼する会議や通知、通知の精選については未だ検討されていない状況。⑤CSなど地域による支援強化については、現在登下校の見守りを含め課題があり、CSが動いているのでその充実が望まれる。

<委員>

- ・定時退勤日は、3校同じ日にしていくことがよい。
- ・学校の先生方が働き方改革について、どう考えているかを大事にしていく必要がある。
- ・南小に今年度スクールサポートスタッフが位置づけられ、とてもよいと聞いている。そのような改革が大事と考える。

<教育長>

- ・職員が個人の携帯電話の番号を保護者に伝えている現状もある。そのことを含めて先生方の考えを重ねていくこと、外からの改革と中からの改革、そしてそれを繋ぐ改革として必要と考える。

<委員>

- ・本村の働き方改革をどうしていくか。(仮)「働き方改革検討委員会」が必要ではないか。

<教育長>

- ・新たな会議を設けるのではなく、南小校長を中心に3校の中に、私を入れていただき、校内の意見を大事にした検討委員会としていきたい。今後教育委員会でも話題にしていくこととする。
- ・学校閉庁日等に関して「学校管理規則」を改正する必要があるかも知れないので、お手元に資料として用意させていただいた。
- ・“村だけで”進めることができないこともある。国・県・郡等の状況を勘案していくことが必要。

<委員>

- ・部活動を含め行事等中学校ではいろいろなことを改革した。今後いろいろな意見を聞きながら進める方向。

<教育次長>

- ・部活動指導員について、5月1日付で辞令交付を行った。

(3) 学校評議員について

<教育次長>

資料にもとづき、報告がなされた。(会議資料2)

(4) 児童・生徒数について

<教育長>

資料にもとづき、報告がなされた。 (会議資料3)

(5) 事故報告

<教育長>

資料にもとづき、報告がなされた。 (会議資料4)

(6) 各委員から (課題、希望) (口頭にて)

<委員>

南部小の職員室が1つの机を二人で使用している状況。狭さを感じているが、南箕輪小、中学校はどうか。

<教育次長>

南部小については、今回の工事に併せて職員室の壁を向くことを考えたが、最終的に職員がこのままでいいという意見をいただいた。今後職員が増えることを見通した時に、壁を抜くだけでは対応できないと思われる。場合によっては、ハウスメーカーを考えなければならないのでは、と考えております。南小は人数の推移を見る必要がある。

<委員>

中学校では、研究室もあるが、基本的には放課後等職員室で仕事をする方向でいる。

昨日飯島町で行われた「第5回キャリア教育産学官交流会」に参加した。1時間1時間の授業が自分の将来に繋がることを大事にし、地域の方が職業について語ることが実践されている。生徒にとって「あの一言で人生が変わった」と思えるような機会を今後も求めたい。産業界では、地域人材の育成を求めているが、それだけでなく、自身の人生をどうデザインするかを大切にしたい。

(7) 6月定例会及び研修会日程について

6月22日(金) 15時から 予定

研修 13時30分~14時30分 長野県伊那養護学校参観

(8) 5月事業報告・6月事業計画について

<教育次長>

資料にもとづき、報告がなされた。 (会議資料5)

(9) その他

<教育長>

今年度第1回採択委員会が開催された。中学校教科「道徳」の教科書の採択に向け、別紙の日程で行われる。村図書に教科書展示を行う予定。

以上